

大会運営事項

1. 開会式・表彰式

- ①開会式は8：30より行う。1試合目のチームは参加してください。
 - ②各チームは、それぞれの試合開始時刻の1時間前までに本部にて受付を済ませる。
 - ③優勝戦の終了後、直ちに閉会式を行い、優勝旗を授与する。
2. メンバー表交換の時には、主将とともに監督・コーチまたは引率責任者のうち1人が立ち会いして、注意事項の確認をする。
 3. シートロックは後攻チームより5分間行う。ただし、降雨、日没等で時間に余裕がない場合は、中止にすることがある。
 4. 捕手の防護用ヘルメット、プロテクター、レガースは着用を義務付ける。マスクと一体化したヘルメットは、危険防止のため禁止する。
 5. 選手が負傷のため手袋を使用するときは、攻守を決めるときに申し出て、審判員の確認を受ける。ただし、打者と捕手の手袋の使用は自由に認める。
 6. 好ましくないヤジ、聞き苦しいヤジは厳禁する。スタンドのヤジについてもチームで責任を持つ。監督及び引率責任者は、選手や応援団の言動に留意し、明るく、楽しい、正しい野球の指導に努めてください。
 7. 登録された者以外は、ベンチに入ることはできない。
 8. 抗議のできる者は監督及び当該プレーヤーである。ただし、監督が選手や応援団を煽動するような行為は厳に慎んでください。
 9. 監督もグラウンドに出て指示ができるが、度が過ぎないようにしてください。また、「監督またはコーチが投手のところへ行く回数の制限」(競技に関する連盟特別規則)に注意してください。
 10. 最近ボールのにぎりに工夫を加えた投球を多く見かけます。指導者は「変化球規制の主旨」を理解し、現場で適正な指導にあたってください。
 11. 試合中のベンチ前での素振りを禁止する。
 12. 団員への指導について、熱が入りすぎてケガをさせるといったことがないようにしてください。
 13. 会場で出されたゴミ等は、必ずお持ち帰りください。“来たときよりも美しく”
 14. 車は、所定の駐車場にとめてください。

スポーツ少年団軟式野球競技規則及び方法

1. 大会特別競技規則

- (1) 試合時間は90分以内とする。
(試合の打切りについては、球審がインニングの表のみならず裏でも最終回のコールをすることがある。)
- (2) 試合回数は7回とするが、上記時間に達した時は、その回までとする。
- (3) 上記時間内において、7回を終了して同点の場合は、9回までを限度に、次の「特別延長戦」を行う。

『特別延長戦』

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。
すなわち、0アウト・二塁の状態にして1インニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、これを繰り返す。

- (4) 試合時間に達しても、なお勝敗が決しない場合、抽選によって勝敗を決定する。
- (5) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟「学童野球に関する事項」による。
- (6) 降雨、日没等により試合継続が困難となった場合、5回終了以降は正式試合とする。
- (7) 得点差のワールドゲームは採用しない。
- (8) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティを課す。ペナルティは、全日本軟式野球連盟「学童野球に関する事項」による。
- (9) 投手の1日の投球回数は7インニングまでとする。(1/3 インニング投げても1インニングとする)
- (10) 投手の投球制限について、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (11) 抗議は監督または当事者が行う。
- (12) 本規則に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議のうえ、大会審判長の権により処理する。

2. 危険防止のため次の用具を使用する

- (1) 打者用ヘルメットは7個用意し、打者、次打者、走者及び走塁指導者は、全員両側にイヤーフラップのついたものを着用すること。
- (2) 捕手は捕手用ヘルメットを着用すること。捕手用ヘルメットはマスクが分離したものをを使用すること。また、捕手はプロテクター、レガースを着用すること。
- (3) 上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認（J S B Bマーク入り）のものを使用すること。
- (4) 素振り用の鉄棒（鉄パイプを含む）、バットリングは使用してはならない。
- (5) 金属スパイクの使用を禁止する。

3. 競技運営に関し、次のことを規定する

- (1) 競技者の背番号について、代表団員は10番に統一する。
- (2) 試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人数は次のとおり。
参加申込書に記載された引率責任者、指導者、選手団員16名の計18名とする。
※その他、指導者1名、スコアラー1名、ボールボーイ2名を認める。ボールボーイはヘルメットを着用する。
- (3) 指導者の背番号は30番に統一する。
- (4) ダッグアウトの中で携帯用マイクを使用することは禁止する。ただし、監督に限り、メガホンを使用することができる。
- (5) ダッグアウト（ベンチ）は、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (6) 試合前のフィールディング練習は5分間とする。（ノッカーも必ずユニフォームを着用すること）なお、大会運営の関係で時間を短縮したり、フィールディング練習なしで試合を開始したりすることもある。
- (7) 球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングは相手チームのフィールディング練習中に限り、外野のフェウルグラウンドで行うことができる。
- (8) 第1試合のチームは、試合開始予定時刻30分前、第2試合後は、前の試合開始1時間後、または、3回終了時に本部へメンバー表4部（その内1部には必ずふりがなをつけること）を提出して登録メンバーの照合を受けること。なお、その際、代表団員によって攻守の決定を行う。
- (9) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。
- (10) 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (11) 試合中、監督またはコーチはグラウンドに入って指示を与えることができる（制限3回）。
- (12) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (13) ファウルボールの処理については、1塁側に止まったものは、1塁側のチームが拾う。3塁側に止まったものは、3塁側のチームが拾う。捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームが拾う。なお、拾ったボールは攻撃側の次打者に渡して、それを球審に渡す。
- (14) 小雨の場合でも、日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行うことがある。
- (15) 雨天の際の連絡について
ア. 試合の実施可否については、試合当日の午前6時30分以降に次の本部役員まで連絡すること。

道岡 彦太	090-1317-4608
蔵本 清則	090-9445-4467
事務局（土地）	076-443-2141（平日）

イ. 当日試合を全く行わない場合と、午前中見合わせて午後から試合を行う場合があるので、必ず連絡をすること。
- (16) チーム並びに応援団は、連盟の競技者規定に触れることのないよう注意すること。特に、投手が投球モーションに入ったら、応援は止めなければならない。また、好ましくない応援やヤジに対しては、審判員が積極的にそのチームに注意する。本大会は鳴り物入りの応援を禁止する。

富山県スポーツ少年団軟式野球競技に関するガイドライン (新型コロナウイルス感染防止対策)

富山県スポーツ少年団主催の交流会を行うにあたり、以下の事項、対策を講じることを運営の基本として行う。

なお、本部役員、審判、参加チーム指導者、団員、保護者の全ての者において、当日の検温（37.5度以下）並びに体調に異常がないかを確認し、各自出来る限り2m以上の距離を取り、マスクを着用し、密集しないようにする。

1 開会式、閉会式、表彰式はできる限り簡素に行う。

2 (1) 運営方法

- ・会場滞在時間は、試合時間を含め、密にならないように運営をする。
- ・本部席、ベンチ、トイレに消毒液またはハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
- ・試合終了後は速やかに会場より退出する。
- ・本部は検温器、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

(2) 試合に関して

- ・打席、守備につくとき以外は、ベンチ内においてはマスク着用とする。ランナーコーチも着用。
- ・指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さずに行う。また、メガホンの使用は監督のみとする。
- ・試合開始、終了の挨拶は、声を出さず、礼のみで行う。
- ・捕手は防具を自ら着用し、補助者を使わない。
- ・審判はマスクを着用し、判定コールは大声を出さずにジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
- ・マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなるため、給水タイムを取るなど配慮する。

(3) 参加チームについて

- ・会場入りするチーム構成は、引率責任者、指導者（2人）、団員（3年生以上16人）、スコアラー、ボールボーイ（2人）及び応援の団員、保護者の皆様はマスクを着用し、観客席にて2m以上の間隔を取り、声を出さずに拍手などで応援する。
- ・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行い、チームのジャグ等禁止とする。
- ・昼食をとる場合、対面にならないよう2m以上の間隔を取り、会話を控え、最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。

- ・試合終了後は速やかに帰途に就くこと。
- ・団員の移動については全ての車両においてこまめな換気を行い、密閉、密集、密接にならないよう注意する。
- ・会場に入れるのは、団員1名につき、保護者等2名までとする。
- ・健康チェックシートを提出する。

※交流会に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、団員、スタッフ、保護者の管理はチームで責任を持って行うこととする。

以上が交流会のガイドラインですが、感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加団員、保護者にはよく説明を行い、同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止いたします。

なお、交流会開催中においても、感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は、交流会及び試合をうちきることがあります。

以上

令和3年度第31回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会
軟式野球競技 参加チーム一覧

No.	市町村名	団名
1	富山市	奥田 スポーツ少年団
2	富山市	岩瀬 スポーツ少年団
3	富山市	大久保ファイターズ スポーツ少年団
4	高岡市	(高岡市A) スポーツ少年団
5	高岡市	(高岡市B) スポーツ少年団
6	射水市	新湊クラブ スポーツ少年団
7	射水市	作道少年野球クラブ スポーツ少年団
8	魚津市	経田野球クラブ スポーツ少年団
9	氷見市	宮田 スポーツ少年団
10	滑川市	滑川西部ライオンズクラブ スポーツ少年団
11	黒部市	桜井ホークス スポーツ少年団
12	砺波市	庄東出町 スポーツ少年団
13	小矢部市	津沢野球 スポーツ少年団
14	南砺市	井波野球 スポーツ少年団
15	上市町	上市ベースボールクラブ スポーツ少年団
16	入善町	入善西JBC スポーツ少年団

試合会場について

富山県総合運動公園 多目的広場

〒939-8234

富山県富山市南中田 368 番地

076-429-8835



駐車場について

園内マップ

太枠内に駐車してください。

